

# 東京消防庁重点施策

## 第1 東京2020大会を無事に終了させる

### 【策定背景】

- ・ 東京2020大会の延期に伴い、消防対策を再構築し、習熟する必要がある。
- ・ 大会期間においてテロや大規模な自然災害等が発生した場合に備え、万全な警戒体制を確立する必要がある。
- ・ 大会関連施設や観光客が立ち寄りやすい建物の安全性を高める必要がある。

### 【組織が取り組むこと】

- ・ 本部警戒本部と現地警戒本部が、密接に連携協力した警戒体制を確立する。
- ・ 本部警戒本部及び関係機関を含む現地警戒本部の運営体制を確立するため、訓練を推進する。
- ・ 競技会場等における万全な防火管理体制の構築及びオーバーレイに対する適切な防火指導によって、安全に大会が開催できる体制をととのえる。

### 【職員が取り組むこと】

- ・ 警戒に携わる全ての職員が、会場及び競技の特性について理解し、警戒要領に習熟する。
- ・ 直前特別査察及び自衛消防訓練指導の実施に向け、会場の特性を把握し、実務能力を高める。

Keyword

大会成功への取組

## 第2 どのような災害にも安全・迅速・的確に対応する

### 【策定背景】

- ・ 一昨年度から続いて、災害現場等で重大な事故が発生したことから、事故の絶無に向けた取組を継続して実施する必要がある。

### 【組織が取り組むこと】

- ・ 災害特性に応じた装備、車両及び体制をととのえる。
- ・ 安全管理体制を強化するとともに、より実践的な訓練を推進する。

### 【職員が取り組むこと】

- ・ 活動能力(知識、技術、体力及び応用力)を高め、災害現場で安全・迅速・的確に対応する。
- ・ 潜在的危険を含むあらゆる危険は常に存在するという意識及び安全管理能力(危険予測、危険排除及び回避能力)を高め、災害現場や訓練でけがをしない、させない。

Keyword

災害への備え

## 第3 一人でも多くの人を救う

### 【策定背景】

- ・ 超高齢社会の進展や酷暑による熱中症等により、救急需要は更なる増加が見込まれる。
- ・ 救命効果の向上のため、「現場到着時間(通報を受けてから現場到着まで)を全国平均よりも早く」及び「公共の場における応急手当実施率70%」を目標に掲げている。
- ・ 救急車の適正利用を促進するため、「#7119の認知率60%」を目標に掲げている。

### 【組織が取り組むこと】

- ・ 救急隊の増隊、効果的な運用等により、救急需要対策を推進する。
- ・ 適切な口頭指導等、応急手当を実施してもらうために必要な体制をととのえる。
- ・ 医療機関等との連携強化により、救急活動の効率化を推進するとともに、通報を受けてから帰署までの時間を短縮する。
- ・ #7119の周知・利用促進を強化する。

### 【職員が取り組むこと】

- ・ 迅速な出場などにより、救急活動時間を短縮させるとともに、基本に忠実な救急活動を実践する。
- ・ 救命講習を多くの都民に受講してもらい、応急手当につながる指導を実施する。
- ・ #7119について多くの都民に知ってもらう。

Keyword

救命効果の向上

## 第4 一人でも多くの都民の防災への関心を高め、行動に移してもらう

### 【策定背景】

- ・ 令和元年東日本台風、首都直下地震の切迫等により、都民の防災への関心が高まりつつある。
- ・ 防火防災訓練参加者2,000万人(2015年度からの10年間)を目標にし、訓練を推進している中、参加者の固定化、訓練未実施地域の存在などの課題がある。
- ・ 特別区消防団員の定員充足率90%以上(2020年度末まで)を目標に掲げている。

### 【組織が取り組むこと】

- ・ 都民の防災への関心を防災訓練等の行動に結びつけるための環境をととのえる。
- ・ 区市町村、消防団及び地域とのつながりを深めて、連携ができる体制をととのえる。
- ・ あらゆる機会を捉えた積極的な入団促進活動及び退団への対策を行う。

### 【職員が取り組むこと】

- ・ 防災に関心のない人に興味を持ってもらい、行動に移してもらう。
- ・ 都民に分かりやすい指導ができるように指導能力を高める。
- ・ 都民に対し消防団活動への理解及び入団促進を、団員に対し退団への対策を働き掛ける。

Keyword

関心を行動へ

## 第5 一つでも多くの建物の安全性を向上させる

### 【策定背景】

- ・ 防火管理者未選任や自衛消防訓練未実施など自主防火管理体制が不十分な対象物では、効果的な初期消火が行われず延焼拡大する傾向にある。
- ・ 小規模雑居ビルでは、テナントの変更が頻繁に行われる等、多くの建物で繰り返し違反を生じさせている。

### 【組織が取り組むこと】

- ・ 建物の違反の一つでも多く減らすため、各業務の担当が連携しやすい体制をととのえ、新たな違反を発生させないための方策を推進する。
- ・ 自主防火による建物の安全性を向上させるため、建物関係者、外国人労働者等に対し各種制度の理解を促し、適切な届出、報告等を推進する。

### 【職員が取り組むこと】

- ・ 法令や規程等について理解を深め、業務の適正執行に努める。
- ・ 研修の受講、資格の取得などにより、予防業務に必要な実務能力を高める。

Keyword

建物の安全

## 第6 一人でも多くの都民に信頼される東京消防庁にする

### 【策定背景】

- ・ 若年層職員が増加している中、組織の新たな活性化が求められている。
- ・ 社会情勢等が変化している中、消防職員には「コンプライアンス(法令遵守・業務改善)」が求められている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、必要な都民サービスを継続させていく必要がある。

### 【組織が取り組むこと】

- ・ キャリア形成を考える機会を提供するなど、活力のある働きやすい環境作りを推進する。
- ・ 職員の一体感(チーム消防)とコンプライアンス意識の醸成を図る。
- ・ 新型コロナウイルス感染症等について、感染予防及び拡大防止のために職場環境の整備を図るとともに、各種行事等でクラスターを発生させることなく、必要な都民サービスを継続させる対策を推進する。

### 【職員が取り組むこと】

- ・ 将来展望と目標を持ち、自ら成長していく。
- ・ 法令遵守と業務改善の意識を持つ。
- ・ 自身や家族が新型コロナウイルス感染症などに感染しないよう、感染予防及び拡大防止に努める。

Keyword

都民の信頼